

令和5年5月25日

## 「福島市脱炭素社会実現実行計画」 ～パブリック・コメント実施～

施策等に関する下記計画の素案について、市民の多様な意見を十分考慮した上で最終的に決定するためのパブリック・コメントを実施します。

### 記

#### 1. パブリック・コメント対象案件 ※各計画の内容、特徴等については別紙のとおり

No.	計画・プラン名	担当課
1	福島市脱炭素社会実現実行計画	環境課

#### 2. 意見の提出期間

令和5年5月25日（木）～6月26日（月）

#### 3. 素案の閲覧方法

①市ホームページ

②閲覧場所／各担当課、広聴広報課、市民情報室、各支所・出張所、各学習センター、市民活動サポートセンター、西口行政サービスコーナー、アクティブシニアセンター・アオウゼ、こむこむ館、市立図書館、男女共同参画センター

#### 4. 意見の提出方法

①市ホームページから専用フォームで

②上記素案の閲覧場所に備え付けの用紙に必要事項を記入し、持参か専用の封筒で郵送またはファクスで

#### 5. 意見を提出できる方

①本市に住所を有する方

②本市に事務所又は事業所を有する方

③本市に存する事務所又は事業所に勤務する方

④本市に存する学校に在学する方

⑤その他パブリック・コメント制度に係る事案に利害関係を有する方

#### 6. その他

いただいたご意見とそれに対する市の考え方については後日公表いたします。

担当：広聴広報課  
課長 八島 主任 松川  
電話 024-563-7488（直通）

## 福島市脱炭素社会実現実行計画の改定 ～チャレンジ2050ゼロカーボンふくしま市～

環境部

環境課

目指す姿	<p>再生可能エネルギーの導入拡大、省エネルギー・省資源に向けたライフ・ワークスタイルシフトなどにより、2050年度までに温室効果ガス排出量ゼロとなる社会を目指す。</p>
 ポイント	<p>本計画の策定当初（2021年2月）は、2013年度（基準年度）の温室効果ガス排出量を2030年度に30%以上削減することを目標に事業を進めてきたましたが、国・県の温室効果ガス削減目標の引き上げを受け、さらなる削減に向けた取り組みを強化し、その削減目標を55%に引き上げるため、計画を改定します。</p> <p><b>【削減目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年度である2013年度の温室効果ガス排出量2,391千t-CO<sub>2</sub>を ⇒2030年度に55%削減 ⇒長期的目標として2050年度までに実質ゼロを目指す</li> </ul> <p><b>【強化した主な追加対策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①産業部門：産業ヒートポンプの普及、高効率空調や照明導入</li> <li>②家庭部門：住宅の高断熱化、ZEH化、再エネ設備、省エネ機器の導入</li> <li>③業務部門：高効率な省エネルギー機器の導入、屋根置き太陽光発電の導入促進、建物の高断熱化、ZEB化</li> <li>④運輸部門：EV、FCV等次世代自動車の普及、充電インフラ整備、エコドライブ等の省エネ行動の実践</li> <li>⑤廃棄物部門：ごみの排出抑制（プラごみ減等）推進、資源化（分別収集、生ごみ減量化）</li> <li>⑥その他ガス（農業）：水稻農家の「中干期間の延長」に関する普及啓発</li> </ol>
意見提出期間	令和5年5月25日 ～ 令和5年6月26日
備 考	

担当：環境課 温暖化対策推進係  
課長 黒須 係長 安倍  
電話 024-525-3742（直通）